



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 川辺株式会社
コード番号 8123 URL <https://www.kawabe.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡野 将之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理統括本部長 (氏名) 有田 二郎
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3352-7110

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,782	3.8	156		132		162	
2023年3月期第1四半期	2,680	19.4	154		126		143	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 126百万円 (%) 2023年3月期第1四半期 54百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	88.81	
2023年3月期第1四半期	78.67	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	11,893	6,253	52.6
2023年3月期	12,188	6,407	52.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 6,253百万円 2023年3月期 6,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				15.00	15.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,491	7.5	135	9.5	208	1.3	100	19.7	54.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	1,861,000 株	2023年3月期	1,861,000 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	35,489 株	2023年3月期	35,489 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	1,825,511 株	2023年3月期1Q	1,825,635 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(収益認識関係)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が5類への移行に伴い、コロナ禍の景気停滞から回復基調に転じております。一方で、ウクライナ情勢の長期化による不安材料に加え、急激な為替の変動や資源高が進行するなど景気への悪影響が懸念される状況が続きました。個人消費においても、行動制限等の緩和とそれに伴う観光サービス業等の需要に回復の動きがみられたものの、インフレからの物価上昇懸念による節約意識が高まるなど、先行き不透明感が強まりました。

当社グループの主要販路である百貨店・直営店舗においては、外出機運や消費意欲の高まりから入店客数が増加し、一部の店舗ではコロナ禍前の売上高に近づくなど、市況は徐々に回復基調に転じました。また、訪日外国人旅行者への水際対策緩和以降、インバウンド需要も順調に回復しリベンジ消費に期待を寄せる機運に好転いたしました。

このような状況下、当社グループにおいては、生活様式や働き方など様々な価値観の変化、デジタル化の加速によるEC拡大や非対面、非接触でのサービスなどの拡大、社会面では環境問題、少子高齢化や物価高など、これらの様々な今後の課題に対処するために「中期経営計画2023NEXT」を制定いたしました。

当社グループは生産の川上から販売のリテールまでのサプライチェーン、いわゆる垂直型が強みです。それを活かし、生産性の向上、コスト削減による収益確保、さらに新たにグループ全体で取り組むオリジナルブランド強化に努め、企業価値向上と顧客満足度向上、資産価値の形成に努めたいと考えております。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高27億82百万円(前年同期比103.8%)、営業損失1億56百万円(前年同期営業損失1億54百万円)、経常損失1億32百万円(前年同期経常損失1億26百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失1億62百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失1億43百万円)となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

身の回り品事業

当第1四半期連結累計期間の身の回り品事業全体としては、リアル店舗において経済活動の正常化に伴い回復基調に転じました。

ハンカチーフにつきましては、前期に引き続き新規取引先の開拓による新しい売上が構築できたことや、単価アップ施策として打ち出しているシェニール企画やエコバッグ企画も引き続き好調に推移したことに加え、訪日外国人観光客需要を取り込むことができた結果、売上は前年比108.9%となりました。

スカーフ・マフラーにつきましては、シルクスカーフが好調に推移し、春夏の繁忙期である母の日需要を取り込むことができたこと、また、当社におけるスカーフカテゴリーに分類されるニコライバーグマン晴雨兼用傘が昨年に引き続き好調に推移した結果、売上は前年比117.6%となりました。

タオル・雑貨につきましては、これまでテレビ通販で好調だったタオルが外出機運の高まりで売上が鈍化傾向になったことと、昨年大きく伸長したプール関連商品のラップタオルによる売上が前年を下回る結果となったこと、また、雑貨売上に関しては、リニューアルしたオリジナルPLAYERSバッグが好調に推移したものの、その他の雑貨が天候不順等により苦戦をした結果、売上は前年比80.3%となりました。

この結果、身の回り品事業での売上は、前年比101.8%となりました。

フレグランス事業

当第1四半期連結累計期間のフレグランス事業におきましては、春商戦の新規商品の立ち上がりが非常に好調であったこと、百貨店での大型イベント等の積極的な開催、そしてEC販売強化とプロモーション強化により売上が好調に推移し、売上は前年比114.8%となりました。

全事業といたしましては、苦戦するアイテムはあったものの、主軸アイテムであるハンカチーフが前年比108.9%、フレグランスが前年比114.8%となり、前年同期と比べ、売上高の増加が実現できました。

また、コスト環境は為替の影響、原油高等前年度に増して厳しい状況の中、数十年変化のなかったハンカチーフ商品の価格値上げ、その他の商品も価格見直しを行った結果、売上にマイナス影響が出ることがなく、売上総利益率は前年度と比較し、4.1%上回ることもでき、売上総利益の増加となりました。

一方で販売費及び一般管理費が増加した結果となりました。これは創業100周年事業開催の費用と新規案件に対しての先行投資によるもので一時的な拠出となります。その結果、営業利益、経常利益は共に前年同期と比べ減少いたしました。また、積極的な営業活動を行う過程で発生した未実現利益の消去、そして法人税等も増加した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益も同様に減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間における「資産合計」は、前連結会計年度末の121億88百万円から118億93百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の減少、商品及び製品の増加によるものであります。

「負債合計」は、前連結会計年度末に比べ1億41百万円減少し、56億40百万円となりました。

これは主として、支払手形及び買掛金の増加、短期借入金の減少、長期借入金の減少によるものであります。

また、「純資産合計」は前連結会計年度末に比べ1億54百万円減少し、62億53百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における総資産は、前連結会計年度末の121億88百万円から118億93百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月12日発表の「2023年3月期決算短信」の業績予想から変更しておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,585,020	1,719,915
受取手形及び売掛金	2,360,351	1,658,856
商品及び製品	2,811,244	3,029,804
仕掛品	49,322	72,736
原材料及び貯蔵品	147,132	162,237
その他	210,057	248,701
貸倒引当金	△2,494	△1,399
流動資産合計	7,160,635	6,890,853
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	740,191	732,257
工具、器具及び備品（純額）	50,294	58,363
土地	1,099,724	1,099,724
その他（純額）	117,585	112,790
有形固定資産合計	2,007,795	2,003,135
無形固定資産	228,733	237,480
投資その他の資産		
投資有価証券	673,541	689,416
投資不動産（純額）	1,567,600	1,561,362
その他	550,611	511,025
投資その他の資産合計	2,791,754	2,761,805
固定資産合計	5,028,282	5,002,422
資産合計	12,188,917	11,893,275

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,828,723	2,121,327
短期借入金	2,098,922	2,058,674
未払法人税等	119,733	18,374
賞与引当金	31,385	9,412
その他	662,212	460,480
流動負債合計	4,740,977	4,668,268
固定負債		
長期借入金	486,267	420,700
退職給付に係る負債	380,481	368,122
資産除去債務	50,816	50,856
その他	122,902	132,094
固定負債合計	1,040,466	971,773
負債合計	5,781,444	5,640,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,720,500	1,720,500
資本剰余金	1,770,567	1,770,567
利益剰余金	2,814,027	2,624,514
自己株式	△54,713	△54,713
株主資本合計	6,250,381	6,060,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	117,211	123,351
繰延ヘッジ損益	△11,580	5,981
為替換算調整勘定	31,196	33,014
退職給付に係る調整累計額	20,264	30,017
その他の包括利益累計額合計	157,092	192,365
純資産合計	6,407,473	6,253,234
負債純資産合計	12,188,917	11,893,275

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,680,483	2,782,213
売上原価	1,775,938	1,729,883
売上総利益	904,544	1,052,330
販売費及び一般管理費	1,059,477	1,209,254
営業損失(△)	△154,933	△156,923
営業外収益		
受取利息	11	6
受取配当金	4,134	4,991
投資不動産賃貸料	39,186	33,663
その他	14,606	16,740
営業外収益合計	57,939	55,402
営業外費用		
支払利息	6,834	5,757
不動産賃貸費用	17,636	20,384
持分法による投資損失	3,757	3,399
その他	1,432	947
営業外費用合計	29,660	30,489
経常損失(△)	△126,654	△132,010
特別利益		
固定資産売却益	-	849
特別利益合計	-	849
特別損失		
固定資産除売却損	-	16
店舗閉鎖損失	2,515	-
特別損失合計	2,515	16
税金等調整前四半期純損失(△)	△129,170	△131,177
法人税等	14,466	30,952
四半期純損失(△)	△143,637	△162,129
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△143,637	△162,129

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△143,637	△162,129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68,911	6,139
繰延ヘッジ損益	14,360	17,561
持分法適用会社に対する持分相当額	6,229	1,818
退職給付に係る調整額	△24	9,752
その他の包括利益合計	89,476	35,272
四半期包括利益	△54,161	△126,856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△54,161	△126,856
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	身の回り品事業	フレグランス事業	計
百貨店	1,034,295	128,460	1,162,756
量販店	483,435	4,541	487,976
専門店、小売店その他	756,267	273,483	1,029,750
顧客との契約から生じる収益	2,273,998	406,485	2,680,483
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	2,273,998	406,485	2,680,483

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	身の回り品事業	フレグランス事業	計
百貨店	1,023,549	156,935	1,180,484
量販店	475,883	4,483	480,367
専門店、小売店その他	816,073	305,288	1,121,361
顧客との契約から生じる収益	2,315,506	466,707	2,782,213
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	2,315,506	466,707	2,782,213

(重要な後発事象)

該当事項はありません。